

## シリーズパソコン周辺機器 ②⑤

## 『SNS』

宮杉 浩

先日SNSの最大手であるFacebook社がNASDAQ市場に株式公開し、その株価の変動に注目が集まっています。日本国内においても様々なSNSを利用する環境が日々変化しており、皆さんの中にもSNSを利用されている方も多いことと思います。今回はSNSについてお話ししましょう。

SNSとはソーシャル・ネットワーキング・サービス (Social Networking Service) の略で実社会での人間関係を元にしてインターネット上に形成されたオンライン・コミュニティです。従来のインターネットでのコミュニティとしてブログや掲示板などがありますが、誰でも閲覧可能で匿名性の高いそれらとは異なり、SNSではそのサイトに登録、プロフィール公開をすることによって実社会での繋がりをより反映させたネット利用ができ、また自分の趣味や生活などに応じたコミュニティに参加することにより、より明確な情報収集が可能になるなど、様々なメリットがあることから急速に広がっています。

現在もっとも世界的に規模を拡大しているのがFacebookです。2004年2月にアメリカ、ハーバード大学の大学生が自校の学生向けネットワークコミュニティサイトとして公開したのが始まりで、現在では全世界にSNS最大の登録者数を誇っています。本学もFacebook公式ページを5月18日より公開し、より身近なものとなっています。ほかにも世界的なSNSとしてMyspace、Friendsterなどがあります。日本国内でもmixiやGREE、そして最大手の検索エンジンであるYahoo!もSNSを始めています。かつてのSNSは既存の参加者から招待されることにより参加できるサービスが主でしたが、現在は誰でも登録することにより参加することができるSNSが増え、拡大の大きな要因となっています。その急速な発展に、各企業もビジネス拡大の強力なツールとしてSNSに着眼し、企業広告、採用情報などに積極的に活用するケースが増えています。

SNSを利用する際のもっとも重要なポイントは個人情報の管理です。通常のインターネットのコミュニティでは匿名性が重視されていたのですが、SNSでは個人の情報をどの段階まで公開し、管理していくかが大変重要なものとなります。本名公開が前提となっているSNSもありますから、参加するコミュニティなどの見極めを適確にしなければ自分の個人情報を危険に晒すこととなります。個人の情報は目的に応じて段階的な公開が可能となっていますので、SNSの理解・活用スキルの向上を心がければ、今まで以上に幅広く充実した情報が得られることとなるでしょう。

SNSの進歩は本学図書館のサービスにも今後何らかの影響を与えていくことが考えられます。SNSの機能を利用した図書館サービスがどのように展開できるか、私も今後情報収集と研究に務めていきたいと思えます。

みやすぎ ひろし (係長補佐・管理運営課)